

# 東京湾海況情報 R06-5

## 東京湾水質調査結果 (令和6年8月)

(令和6年8月21日発行)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 8/5 ふさなみ (内湾), ふさみ丸 (内房), 関東・東海海況速報

8月5日にふさなみ, ふさみ丸で行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

### 【水温・塩分】

表層水温は, 内湾で27~32°C, 内房海域で26~28°Cと, 最近10年間の平均値より高くなっていました。表層塩分は, 内湾で22~28と平均値より低く, 内房海域で30~33と平年並みでした。底層では, 水温20°C以下, 塩分32以上の低温・高塩分な水塊が, 水深の深い神奈川県側の海底に沿って, アクアライン北のSt.6付近まで入り込んでいました(図1~3, 表1)。

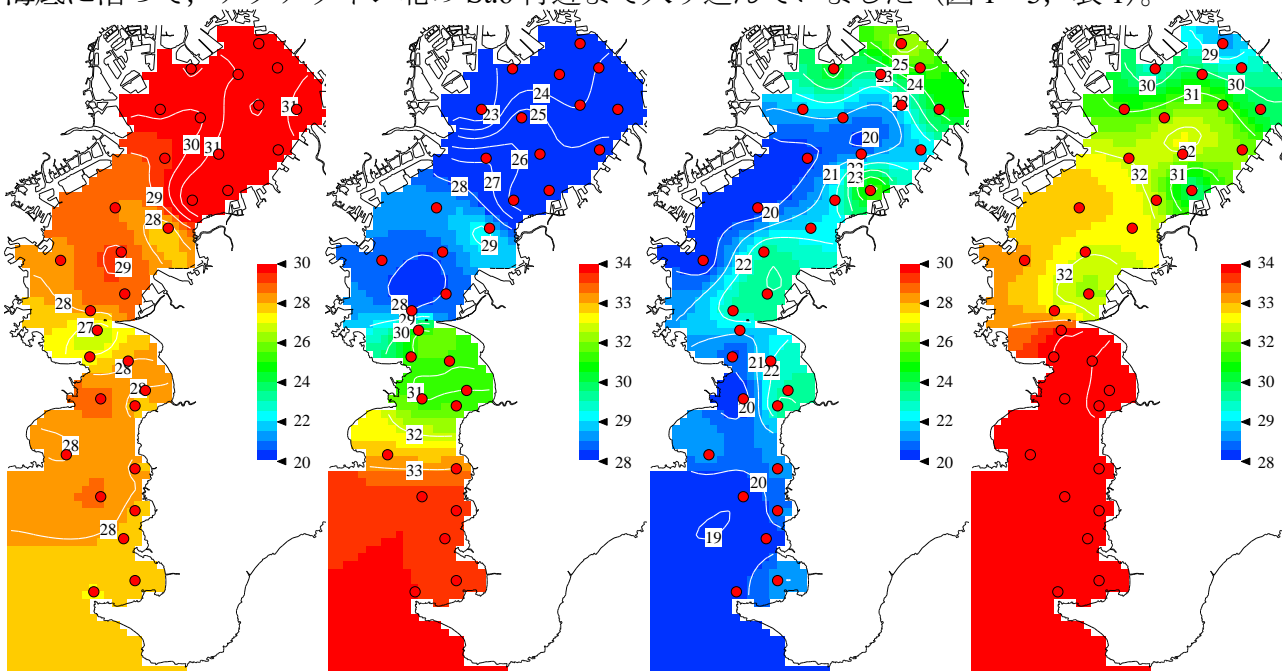
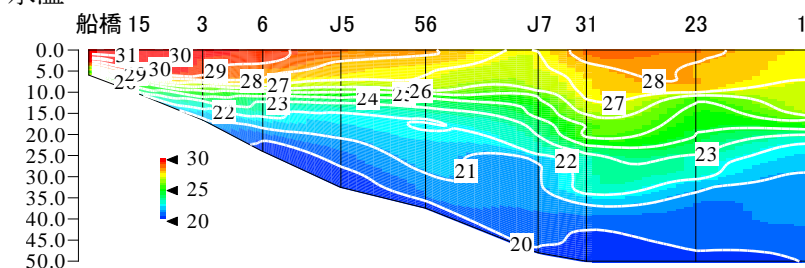


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

### 水温



### 塩分

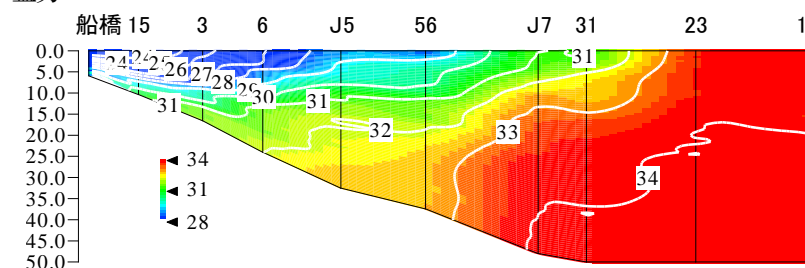


図3 縦断面の水温・塩分

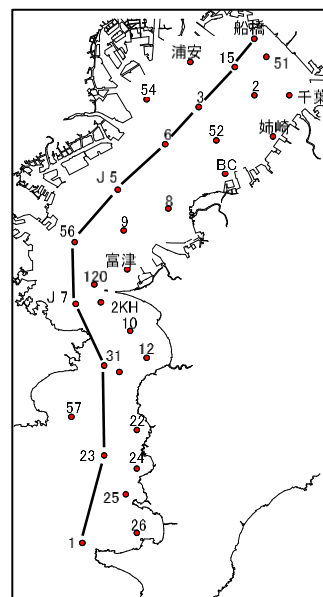


図4 水質調査点 (実線は調査ライン)

### 【赤潮】

透明度は、内湾で 1.7~3.5 m, 内房海域で 4.5~23 m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は、内湾で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~34  $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~6  $\mu\text{g/L}$  でした (図 6)。赤潮は確認されず、プランクトンの優占種は渦鞭毛藻クロロディニウム属, 珪藻レプトシリンダラス ダニカスでした。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ~褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 $\mu\text{g/L}$ 以上

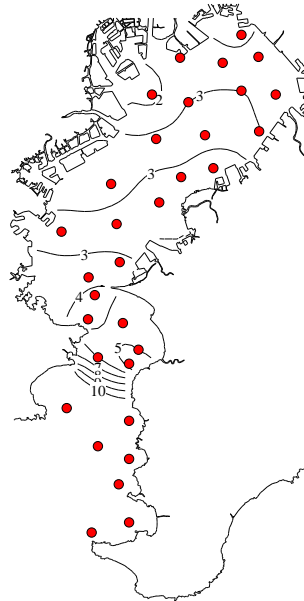


図 5 透明度

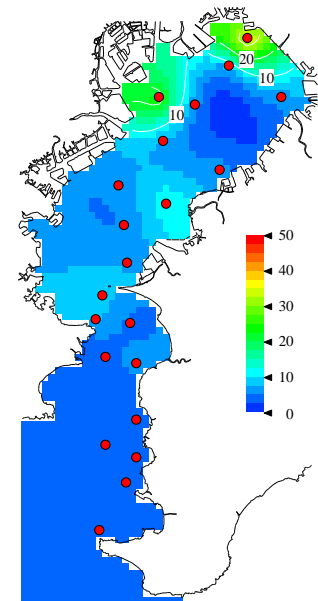


図 6 クロロフィル a 濃度

### 【貧酸素水塊】

貧酸素水塊は内湾全域に分布し、内湾北部は無酸素状態となっていました (図 7, 8)。

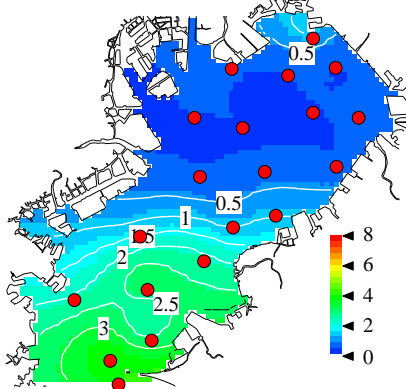


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

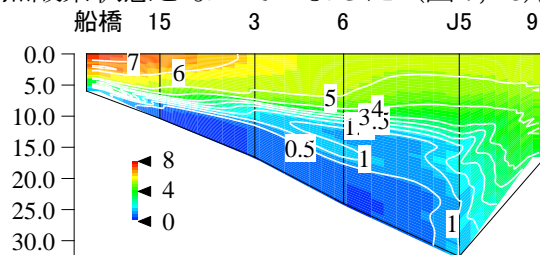


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

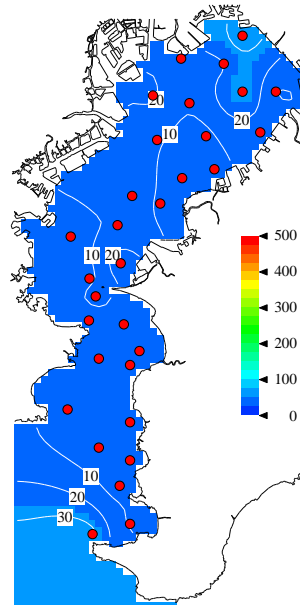
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

### 【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は、内湾、内房海域ともに 5  $\mu\text{g/L}$  以下~34  $\mu\text{g/L}$  でした。表層のリン (DIP) は、内湾、内房海域ともに 5  $\mu\text{g/L}$  以下~16  $\mu\text{g/L}$  でした (図 9)。

内湾、内房海域ともに、窒素、リンが少なくなっていました (表 1)。

DIN



DIP

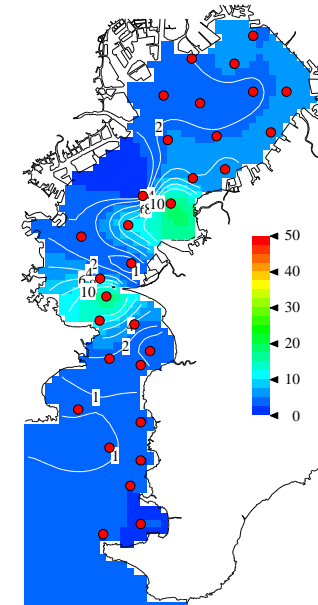


図 9 表層の栄養塩濃度 ( $\mu\text{g/L}$ )

【黒潮】

黒潮はA型流路でした。黒潮は野島埼沖では接岸し、犬吠埼沖では離岸していました(図10)。

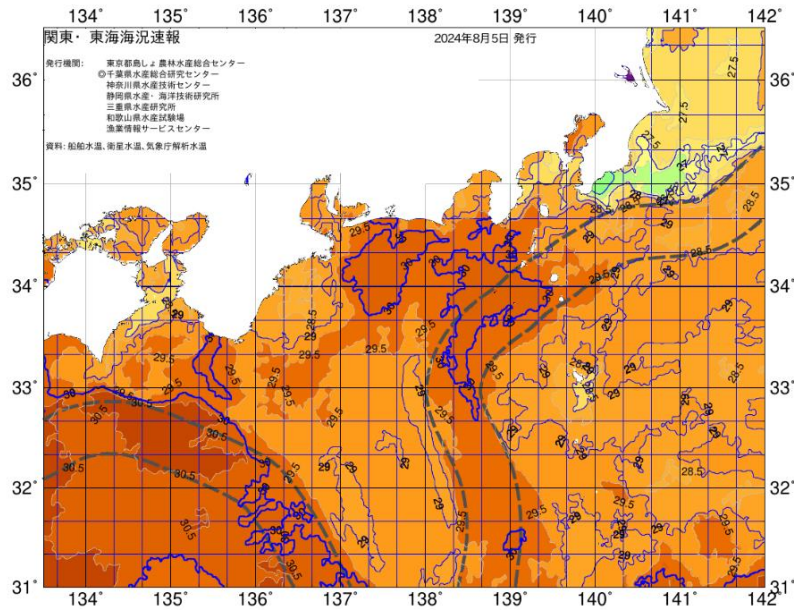


図10 黒潮の動き(令和6年8月5日)

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値(2014~2023年)

調査点	水温(°C)	塩分	透明度(m)	pH	溶存酸素量(mL/L)	アンモニア態窒素(μg/L)	溶存無機態窒素(μg/L)	リン酸態リン(μg/L)	クロロフィルa(μg/L)	
内湾	船橋	31.3 (28.7)	23.3 (24.9)	1.7 (1.7)	8.9 (8.8)	1.1 (1.9)	31.0 (33.9)	34.1 (7.1)	33.7	
	st.15	31.0 (28.6)	23.3 (25.7)	2.5 (1.7)	8.9 (8.7)	0.1 (1.3)	16.5 (33.9)	18.8 (56.3)	5.8	
	st.3	29.8 (27.9)	25.7 (26.7)	3.0 (2.4)	8.7 (8.7)	0.0 (0.6)	9.6 (32.8)	11.2 (45.2)	4.0	
	st.6	29.3 (27.8)	26.9 (26.9)	3.2 (2.5)	8.6 (8.7)	0.0 (1.0)	9.2 (37.7)	10.9 (86.1)	4.7	
	st.9	29.0 (27.0)	28.2 (29.7)	2.6 (3.0)	8.5 (8.5)	2.7 (2.4)	7.1 (18.5)	11.1 (33.8)	8.7 (8.2)	3.1
	st.BC (盤洲C沖)	31.2 (28.2)	25.6 (27.3)	2.7 (2.6)	8.7 (8.6)	0.7 (2.0)	5.8 (33.9)	7.2 (52.5)	4.6 (9.2)	3.3
	st.8 (盤洲A南)	27.7 (27.1)	28.9 (29.7)	2.3 (3.1)	8.3 (8.4)	1.9 (1.7)	5.4 (16.1)	7.9 (31.5)	16.1 (9.7)	9.6
	富津	28.7 (26.1)	28.0 (30.8)	3.2 (3.8)	8.5 (8.3)	2.2 (2.9)	15.3 (53.0)	25.1 (83.1)	0.0 (4.4)	5.1
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	26.3 (26.5)	31.2 (31.0)	4.5 (3.7)		3.8 (4.2)	9.7 (16.5)	14.8 (29.7)	16.1 (4.8)	6.0
	st.31	28.7 (26.0)	31.0 (31.5)	6.0 (4.7)		3.4 (4.0)	1.2 (12.1)	2.2 (16.7)	1.8 (4.4)	1.5
	st.23	28.5 (26.2)	33.6 (33.0)	18.5 (11.9)		4.2 (4.8)	3.1 (8.0)	4.4 (12.2)	1.3 (0.8)	2.5
	st.1	27.3 (26.1)	33.7 (33.4)	19.5 (15.1)		5.0 (4.7)	14.9 (12.0)	34.4 (20.6)	0.0 (0.1)	0.8
	st.10 (下洲沖)	28.0 (26.6)	31.0 (31.2)	5.5 (4.1)		4.8 (4.9)	1.4 (9.6)	1.4 (18.2)	3.0 (4.7)	2.1
	st.12 (湊沖)	28.0 (26.5)	31.0 (31.6)	5.0 (3.6)		5.0 (5.0)	1.5 (12.5)	1.9 (17.4)	0.2 (3.3)	
	st.22 (保田沖)	27.9 (26.3)	33.0 (32.8)	11.5 (10.5)		4.8 (4.8)	3.4 (11.7)	4.9 (15.8)	0.0 (1.4)	0.8
	st.24 (富山沖)	27.7 (26.2)	33.7 (33.1)	18.5 (10.9)		5.2 (4.8)	4.6 (14.8)	7.6 (19.2)	0.0 (0.7)	0.6
	st.26 (館山湾内)	27.4 (26.4)	33.7 (33.4)	18.0 (12.7)		5.3 (4.7)	4.1 (12.4)	7.9 (18.5)	0.0 (0.6)	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。